

「祈る心」

大本山總持寺 放光堂司 花和浩明師

1月27日は、本山の三宝荒神さまの大祭の日です。大祭は1月と5月と9月にありますが、1月は年の初めということもあり、1年を通じ最も人が集まります。

ことしの大祭は、コロナ禍の規制も徐々に解かれてきていることもあって、3年ぶりの賑わいを見せました。いつも様々な願い事が願目として祈祷されますが、特にこの時期目立つのが合格祈願の願目です。

今年の受験は、コロナ禍の中、また例年になく寒波の中でいろいろと苦労があるようです。私としてもその苦労が報われて、皆が無事合格できるように心からお祈りしたいと思います。

ところで、近年、宗教離れということがよく言われます。でも今年もそうであったように、毎年変わらずに正月には我が国のほとんどの人が神社仏閣を訪れて祈願を致します。やはりほとんどの人は宗教心の一つである「祈る心」をしっかりと持ち続けていることは間違いないのです。

もう10年以上も前のことになりますが、本山の大黒尊天の前で熱心にお祈りなさっている方がいました。私がしばらく目を向けていると、それに気づいたその方が、声をかけてきました。「俺は、大黒さんが勝負の神様だと聞いたことがあるんだよ。だから賭け事にも力を貸してくれると思って、いつも一生懸命にお祈りしてるんだ。」

その言葉を聞いて私は一瞬唖然としました。確かに大黒さまももとは戦いの神さまでした。でもお釈迦さまに帰依し、戦いの心を鎮め、今は皆の福德を願う神さまとなられたのです。声をかけてこられた方は大黒さまのことを多分に誤解しておられたようですが、私は何かほほえましい気持ちになって、「幸せなことがあるといいですね」とだけ言葉を返しました。

人びとの祈りにはいろんな動機があります。どんな動機であってもその祈りを聞いてくださる仏さまや神さまが「本当の幸せ」に導いてくれるに違いありません。私はそう信じています。

本年も我が国の仏さま神さまには新年早々いろんな願いが届けられたことと思います。どうかコロナ禍と戦争を速やかに終らせて、すべての人びとを幸せに導いてください。